

東京鶴丸会 会報 第13号

はろばろと

<http://www.tsurumaru.net/> 題字:引地信一郎(11回卒)

平成22年4月3日

【発行】

東京鶴丸会事務局

〒160-0004 東京都新宿区四谷
2-14小林ビル5階 田中法律事務所
TEL:03-3351-3271

東京鶴丸会会长:田中和義(26回卒)
編集責任者:仮屋 毅(27回卒)

今年も皆で声高らかに

「はろばろと」を合唱いたしましょ

東京鶴丸会会长 田中和義(26回卒)

やつと春が来て新年度が始まりました。同窓生の皆さん、

お元気でいらっしゃいますか？
年に引き続き「日黒雅叙園」で、同郷の、しかも同窓の仲間と、思いつき鹿児島弁で話すときのあの何とも言え

りました。同窓生の皆さん、
今年も総会の案内とともにこの「はろばろと」をお届けいたします。

さて、私達理事は就任して

早二年、残すはあと一年にな

ろうとしています。昨年は、

公約の「大学生版 GO 鶴セミ

ナー（略称 鶴ナビ）」に着手

することできました。大変

厳しい社会情勢の中、就職を

控えた学生の皆さん熱い思

いを感じました。ま

た後輩の為に休日にも拘らず

馳せ参じてくれた社会人の皆

さん愛校心には本当に感激

いたしました。まだ始めたば

かりで試行錯誤の段階と言え

ますが、今後更に工夫を重ね

ていきたいと思います。

また昨年は、東京鶴丸会初

のレクリエーション行事として

「第一回東京鶴丸会ゴルフコン

ペ」を開催いたしました。昨

年の総会で案内して以降、問

い合わせのあつた個人、期を

催になりました。年齢、男女

の別を超えて一緒に楽しめた

の有志幹事が熱心に準備を

し、一〇組（三六名）での開

催になりました。年齢、男女

の別を超えて一緒に楽しめた

合唱いたしました。

第43回東京鶴丸会会計報告

平成20年8月1日～平成21年7月31日

支出		収入	
摘要	金額(円)	摘要	金額(円)
		前年度繰越 ①	4,078,253
本部会計(会報・同窓会総会案内・本部活動に関するもの)			
第43回総会案内印刷費	356,390	年会費	1,309,000
" 通信費	460,569	東京鶴丸一鶴会からの寄付	69,159
" 世話人会関連費	109,412	受取利息	4,233
" 振替手数料他	111,565	雑収入	0
「はろばろと」印刷費	92,058		
ご祝儀(平成21年度鹿児島総会)	30,000		
" (渋谷おはら祭)	30,000		
広告料(平成21年度鹿児島総会)	20,000		
理事会運営費	35,800		
鶴ナビ運営費	48,486		
通信費・振込手数料他	2,205		
計	1,296,485	計	1,382,392
本部会計収支差額 ②		85,907	
幹事学年会計(同窓会総会に関するもの)			
第43回総会会場費	3,812,038	第43回総会会費	4,341,000
" 運営費	500,258	" 祝金・寄付金	100,000
" 幹事会等諸費	285,351	" 広告収入	745,000
" 事務通信費他	23,500	" 雑収入	0
計	4,621,147	計	5,186,000
幹事会計収支差額 ③		564,853	
次年度繰越 (①+②+③)		4,729,013	

第四三回東京鶴丸会総会のご報告とお礼——一年前を振り返つて

準備会長 福元 一志(30回卒)

二〇一〇年一月一六日、千田会長率いる三回卒の皆様による第一回世話人会の会場に到着したとき、一年前の私たち三〇回卒が主催した第一回世話人会の緊張と『ああ、もう一年経つたのか』という懐かしさがよみがえりました。一昨年の六月、奥会長率いる第四二回東京鶴丸会総会の壇上で四〇名の同期の友と決意宣言し、九月の準備会の目黒雅叙園での決起集会では六〇名の準備会スタッフと九ヶ月後にこの広い会場を埋め尽くす夢を誓い、一年前の一月頃は、やればやるほど出てくるたくさんの課題を抱えながら緊張の第一回世話人会に臨みました。しかし、第一回世話人会が終わったとき、各担当リーダーの多才な才能と世話人の皆様の温かい応援の言葉に、『なんとかなりそうだ』と一つの山を乗り越えられた気持ちになりました。

丸会の参加の皆様に応えるべくこれまで以上に広い会場を探しました。また、今年から、一中、高女、夜間課程の皆様が、東京鶴丸会として一つとなつたことによりすべての名簿を統一形式に統合しました。時代の変化に合わせてインターネットの活用などデジタル化にも取り組んでみました。おかげさまで、今年は二〇〇名以上の東京鶴丸会の新会員が増えるという成果を得ることができました。

約一年の準備会の期間中、色々な出会いがありました。準備スタッフの幹事メンバー約二〇名とは毎月一回の頻度で準備会議で集まり、会議の後は懇親会。懇親会は準備スタッフの『チエスト行け営業部隊』が、東京鶴丸会への協賛のため足で探し当てた薩摩料理のお店にお礼かたがた集まり、甘口の醤油と芋焼酎で語り合いました。時には、則武会長率いる二七回卒の先輩幹事リーダーの皆様と酒を酌み交わし、『そいじや、やつせんど』とアドバイスをいたしました。また、今年のテーマである『ごんま弁』の作成のために電話でお話をさせていただきました。昭和時代の懐かしい思い出話を聞かせていただき、東京鶴丸会の歴史の大きさを感じました。

また、田中理事長率いる東京鶴丸会理事会の皆様には、一年を通して、多大なご支援、ご助言を仰ぎ、安心して準備を進めることができ、心の支えになりました。深く感謝しております。

そして総会当日の七月四日、この日まで準備に関わった準備スタッフ、諸先輩の皆様、後輩の皆様のご協力の集大成の日。本番直前のリハーサルの壇上で一〇〇名を超える二〇期のスタッフの二〇〇を超える瞳を目にしたとき、『よくぞ、ここまで来れた』と感無量。しかし、本番前のリハーサルは段取り通りにいかず、当日の運営ディレクターの顔に冷や汗が…。最初から最後まで気の抜けない長い一日でした。

新しい会場や新しい名簿、新しい案内状等々、準備会のスタッフ全員が『成功させたい!』。一丸となって、様々なかな新しい試みにチャレンジしました。年々増えていく東京鶴

丸会の参加の皆様に応えるべくこれまで以上に広い会場を探しました。また、今年から、一中、高女、夜間課程の皆様が、東京鶴丸会として一つとなつたことによりすべての名簿を統一形式に統合しました。時代の変化に合わせてインターネットの活用などデジタル化にも取り組んでみました。おかげさまで、今年は二〇〇名以上の東京鶴丸会の新会員が増えるという成果を得ることができました。

『ごんま弁』の作成のために電話でお話をさせていただきました。昭和時代の懐かしい思い出話を聞かせていただき、東京鶴丸会の歴史の大きさを感じました。

また、田中理事長率いる東京鶴丸会理事会の皆様には、一年を通して、多大なご支援、ご助言を仰ぎ、安心して準備を進めることができ、心の支えになりました。深く感謝しております。

また、昨年の東京鶴丸会の想い出として、藤木さんの鶴丸高校校歌の誕生のエピソードは忘れることできません。改めて、鶴丸高校校歌の素晴らしさに感動し、鶴丸高校の学徒であつたことを誇りに思います。

そんな緊張の中での総会・懇親会は、おかげさまで、六〇〇名を超える東京鶴丸会の皆様と一堂に会することができました。今年のテーマである『ごんま弁』の作成のために電話でお話をさせていただきました。昭和時代の懐かしい思い出話を聞かせていただき、東京鶴丸会の歴史の大きさを感じました。



鶴丸高校卒業生対象の就職活動支援セミナー「鶴ナビ」のご報告

東京鶴丸会理事 有川 久志(38回卒)

新理事会発足に伴い、新たな取り組みとしてスタートしたのが、「鶴ナビ」です。これは、『鶴丸高校を卒業し、就職活動をしようとする学生を対象に、鶴丸高校出身社会人が（直接の）就職斡旋ではなく）アドバイス・支援を実施するセミナー』です。

鶴丸高校という学び舎を共にした、各界で活躍するOBOGと今から社会に羽ばたこうとしている学生が一堂に会する「鶴丸愛」溢れる雰囲気の中、平成二一年には二回実施されました。

『就職氷河期』と言われる環境下で就職活動をする大学生、大学院生にとって、より有益になるような内容は何か、を議論しました。そして、就職対策の専門学校で講師を務めている鶴丸OBの方の講演では、実際のエントリーシートの記入例など具体的な対策も盛り込んで頂きました。続いているプログラムも、企業の最前線で活躍されている先輩諸氏が、業界別にテーブルに分かれています。参加した学生と少人数で話す形になりました。参加した学生にとっては、その後の就職活動を進める上で非常に貴重な話をして頂きありがとうございます。うございました。各個人に合せて親身に対応してもらえ

たのが良いと思います。』「有意義な講義や社会人の方のお話を聞く事ができ、鶴丸生で良かったと改めて感じました。就職活動の良いスタートが切れました。」（参加者アンケートより抜粋）

と言った声をいただき、非常に好評でした。

後輩のために、休日にも関わらず快くご協力いただいた社会人の皆様に、心から御礼申し上げます。質問に真摯に答える姿は、学生側にも伝わったようです。その後内定を決めた学生から、「自分も今度は社会人の側で、鶴丸の後輩のためにはアドバイスしたい」という言葉をもらいました。

平成二一年は開催初年度のため、試験的な実施の意味も含め二回開催致しましたが、平成二二年以降は、基本的に年に一回、秋の開催を予定しております。今後とも、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【回答例】
（3）時間について
丁度よかったです。の回答が約七割。残りの約三割は短かった。の意見でした。
【回答例】
（4）満足度について
普通、と回答した二名を除いて残

●平成二一年 鶴ナビ
●開催日
三月一日（日）十四時～十八時
十月三日（土）十四時～十八時
●開催場所・貸会議室 内海
(東京都文京区水道橋)
●開催内容
①東京鶴丸会 会長挨拶
②東京鶴丸会 鶴ナビ担当者より
趣旨説明
③講演（角倉裕之氏・三八回卒）
④懇談会（業界別グループ分け）
⑤アンケート記入

● 参加人数
(学生) 三月一日二〇名
(社会人) 三月一日二三名
十月三日一五名

▲ 参加者アンケートより

1 全体について
（1）開催意義について
参加者全員から、有意義であった、という回答でした。

【回答例】
「これからの就職活動のモチベーションをあげることができました。」
「就活のいろいろなノウハウが知れて、ためになりました。」
「すぐ参考になるお話を聞いてとてもためになりました。」

2 個別のプログラムについて
（1）講演について
普通、と回答した一名を除いて、全員が良かった、との回答でした。

【回答例】
「まだ自分の就活が未熟だと思いながらも、もう少し休憩をはさむべきだった」
「普段は聞くことができない、就活のコツを聞く事ができ良かったです。」
「全体的な就活の雰囲気や厳しさ楽しが伝わってきたが、マスクミ中心だったので他業種についても詳しく知りたいと思った。」

【回答例】
（2）懇談会について
普通、と回答した一名を除いて、全員が良かった、との回答でした。

【回答例】
「実際に働いてらっしゃる方の生の声が聞けて良かった。」
「普段会う若手社員とは異なり、仕事の中身を理解できる契機となつてよかったです。」
「個人的にもつとり込んだ質問をしたかったが、仕方ないと感じた。」

り全員が満足した、との回答でした。

【回答例】
「これからもぜひ続けてほしいです。」「くら話を聞いても話たりない程、有意義な会を開いて頂きました。」

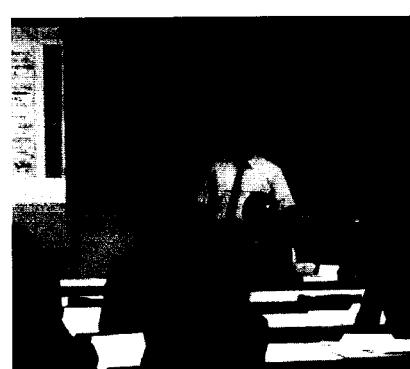
【回答例】
「本も出版していらっしゃる著名な先生からお話を聞いて良かったです。」

◇ 平成二一年開催時にご協力いたいた社会人の業種（順不同）
精密機器メーカー、広告業、化粧品メーカー、テレビ放送事業、定期航空運送事業、不動産業、電気事業（卸電気事業）、総合商社、IT（ハードウェア、ソフトウェア、サービス）、建設業、教員（大学教員）、弁護士

【回答例】
「学生同士で話し合う機会があればいい感じました。社会人と仕事を話をする事で“自分も働きたい”という気持ちを持つことができました。」



各界で活躍する先輩方と話せる貴重な機会



講師の話に熱心に耳を傾ける学生

平成二二年度鶴丸高校第六回GO鶴セミナー「先輩に学ぶ職場訪問」のご報告

東京鶴丸会副会長 小屋敷 辰次（26回卒）

鶴丸高校二年生三一四名

一班（生徒六〇八名）で

各社を訪問

◇感想アンケート

四九社にメールで依頼し三八

社より回答がありました。

1. 準備段階において

（1）苦労されたことはありますか。

回を重ねてきたため、特にないとの回答が大半でしたが、連絡方法に問題があるとの回答がいくつもありました。

【回答例】「当初に比べると短時間の打合せで準備を進めることができるようになっていました」「こちらの焦点が絞れなかつたせいか、やや不活発。

【回答例】「最初は緊張していました」「最初は緊張していたようでしたが、時間が経つとともに活発な意見交換ができました」「こちらの焦点が絞れなかつたせいか、やや不活発。質問事項が具体的に示されることができるようにになっていました」「メールやファックスの受領確認がほとんどなく、社会人相手との違いを感じることがありました」

（2）改善すべき点をお聞かせください。

（1）時間的には十分でしたか。

全体的には「丁度良い時間であつた」との回答が多かったのですが、一部の方からもう少し時間が欲しいという回答もありました。

【回答例】「集中力が保てる時間と考えると、適切であったと思います」「生徒の質問が活発で、予定を三〇分以上も超過しました」「今年はGO

支援により有意義な後輩との交流ができたのではないかと思っています。

午前中の都合のよい時間（十時～十一時の二時間程度）

修学旅行三日目

◇訪問時間 平成二一年七月一六日（木）

◇訪問日 長島・大野・常松法律事務所にて

◇訪問者 四九社

3. 来年に向けて

（1）また引き受けてくださいますか。

ほとんどの方から「来年も引き受けたい」との回答をいただきました。

【回答例】「弊社の若手社員へも良い刺激になつております。引き続き受け入れを行いたいと思います」



長島・大野・常松法律事務所にて

刺激となります。先生方も昔と変わらず、教育やしつけをしっかりとやられていると感謝いたします

「自分の将来に夢を持つ高校生の姿に私がエネルギーをいただきま

した。鶴丸生の良さを、社会から見られている鶴丸生のイメージをもっと生徒さんが知つてほしい

【回答例】「非常に良い企画であります。そういう学校に通つている全体スケジュールを事前に連絡されて欲しとの要望がかなりの方からありました。

【回答例】「先生方からも『このように話をしてほしい』という要望があつたほうがやりやす

い」「将来の職業観について、もう少し希望や夢を予め伝えて頂いたほうが良い」「直前の緊急連絡先が必要

【回答例】「非常に良い企画であります。そういう学校に通つていることを幸せに思つてください」「時間をもう少しとりたいのと

いう点を『要望』なければ、双方にとつてさらに有意義な『こういう話をしてほしい』と

「時間がもう少しとりたい」という点を『要望』だければ、双方にとつてさらに有意義な時間になると思われます」

【回答例】「非常に良い企画であります。そういう学校に通つていることを幸せに思つてください」「時間などをもう少しとりたいのと

いう点を『要望』だければ、双方にとつてさらに有意義な時間になると思われます」

【回答例】「非常に良い企画であります。そういう学校に通つていることを幸せに思つてください」「時間などをもう少しとりたいのと

いう点を『要望』だければ、双方にとつてさらに有意義な時間になると思われます」

【回答例】「非常に良い企画であります。そういう学校に通つていることを幸せに思つてください」「時間などをもう少しとりたいのと

いう点を『要望』だければ、双方にとつてさらに有意義な時間になると思われます」

【回答例】「非常に良い企画であります。そういう学校に通つていることを幸せに思つてください」「時間などをもう少しとりたいのと

いう点を『要望』だければ、双方にとつてさらに有意義な時間になると思われます」

【回答例】「非常に良い企画であります。そういう学校に通つていることを幸せに思つてください」「時間などをもう少しとりたいのと

いう点を『要望』だければ、双方にとつてさらに有意義な時間になると思われます」

◇「修学旅行学習記録」より、
生徒の感想へ一部抜粋▽

☆今回のG.O.鶴セミナーを通して、鶴丸の先輩の活躍は言うまでもなく、先輩たちの懐の温かさや謙虚さ、私たちと対等に話をしてくださる柔軟な姿勢をもつてゐることに鶴丸での三年間が少なからず影響しているのだと思つたので、先輩たちに一步でも近づけるよう努力したい。

☆最後の質疑応答で、僕らが現在、そしてこれからしばらくの間直面することになる「進路選択」を中心にお話をしていたときでした。進学や勉強のことではなくだらけの僕らに、「たまには寄り道な勉強もいい」「勉強していれば、いつかなるようになる」といった温かい言葉を与えて下さり、勇気と安心感を持つことができました。また、「就職は企業を見るのではなく自分を見て決めるべき」とのアドバイスは、これから仕事選びをすることになる僕たちに大きな糧になりました。

☆先輩方は私たち一人ひとり

から、より大きな悩みを抱えたりするときに自分を支えてくれるものになるのではないかと思いました。

☆今回のG.O.鶴セミナーで、班員それぞれが、何かを感じ取つたと思う。自分は社会で働くことには、緻密な計算、戦略を要し、相手を知り、自分を知ることがいかに大切かということを強く感じ取つた。実際に働く人、働くことについて考える良い機会になつたと思う。

☆今回、東京でのG.O.鶴セミナーということで、鹿児島とはまた違つた大企業での学習ができて、たくさんのことを得ると同時に、自分がいかに恵まれた環境にて、何をしなければいけないのかということも再確認することができました。この伝統を後輩達にも受け継いでいって欲しいし、またいつか自分が訪問される立場になりたいとも思いました。

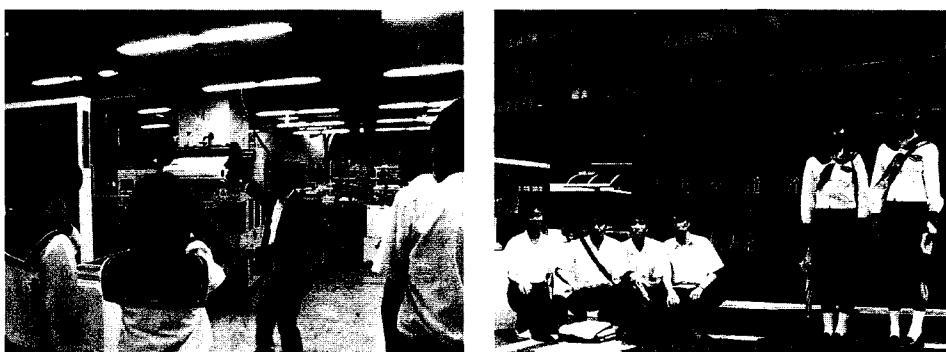
☆先輩方のアドバイスに「友達をたくさん作りなさい」というアドバイスがありました。予想していたアドバイスと全く違つたので驚きました。しかし、「友達を作る」とことで世界観が変わつてくるよ」という事を聞き納得しました。友達はやはりかけがえのないものだとはつきり理解することができました。



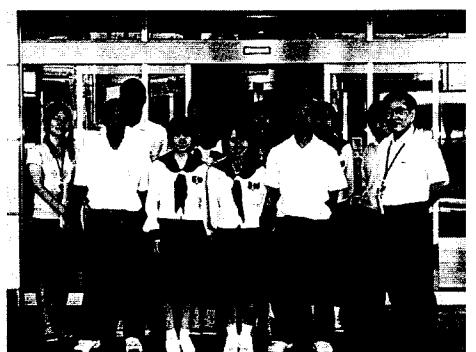
空想科学研究所にて



朝日新聞社にて



国土交通省にて



富士通フロンティックにて

渋谷・鹿児島おはら祭りに
おじやつたもんせ！

渋谷・鹿児島おはら祭も今年で十三回目です。五月十五日日曜日の十二時五十分から十五時四十分の間、渋谷の道玄坂・文化村通りが鹿児島一色になり、"おはら節" "パンヤ節" "渋谷音頭" の踊りパレードが繰り広げられます。過去十二回「鶴丸連」は参加することに意義ありでした。今年はコンクールにノミネートし入賞を目指します。

ここ二年間は学生を中心若者達が大勢参加していますが、今年はコンクールにノミネートし入賞を目指します。過去十二回「鶴丸連」は参加することに意義ありでした。今年はコンクールにノミネートし入賞を目指します。

渋谷で踊りませんか。また、練習会場はウエブサイトにありますのでご覧ください。おどりをみけおじやつたもんせ。

http://tsurumaru-en.blogspot.com

踊り当日の写真撮影、水分補給担当等、サポートも募集しています。踊り練習日・練習会場はウエブサイト

南方通信2 ペンギン大脱走事件

図書出版南方新社代表 向原 祥隆(27回卒)

今年、明けてすぐの一月十三日、十四日、鹿児島は白銀の世界に一変した。何年ぶりだろうか。もっと降れ、もっと降れ、鹿児島の住人でそう思つたのは私だけではあるまい。とりわけ、十三日のほっこりした夜の雪明り。夢のようなあの光景は、当分忘れるることは出来ないだろう。

ここでとつておきの話をひとつ。新聞テレビでは報道されなかつたが、とても面白い事件を耳にした。

大雪に喜んだのは人間ばかりではなかつた。平川動物園のペンギンたち、嬉しさの余り、飼育係がペンギン小屋の入り口をあけ、餌をやろうとしたすきに、わざかに開いていたドアをこじ開け、どやどやとペンギンたちが逃げ出したのである。

その数およそ二十四。

よちよち歩きのペンギンも意外や意外。手で捕まえる網もないからどうしようもない。あわてて事務所に駆け込み応援を頼んだが、戻つて来たときは既にペンギンたちの姿はなかつた。あー、なんこつた。

でも、足跡は残されていた。滑つたり転んだりしながら足跡を追うと、感心なことに海に向かっているではないか。ペンギンたちは本能に導かれ、きれいに一列になつて、海へ一直線に走り抜けいつた。

危険この上ない国道も、車はスピードを気にしてのろのろ運転。運悪く二四が車にはねられて大ケガをした

が、大方は無事に渡りきり、そして海へたどり着くことができた。

平川の海で、ペンギンたちは夢に見た雪の岸壁からのダイブ。生きた魚を心ゆくまで追つた。こりやうまい！ 動物園で生まれ育つた彼らだから、魚の捕り方も自己流。幾世代が前の先祖が南極で追つた魚とは違うが、どうにか捕まえることができると断然うまい！ いつもの冷凍のサンマやイワシとは比べ物にならない。

雪の降りしきる海で遊ぶこと三時間。いよいよ夢の覚めるときがきた。岸辺で動物園の職員達の見守る中、依頼された近所の漁師が船を繰り出して、ペンギンの群れを包囲した。船の数十隻。

必死に潜つて逃げ回るが、潜水時間は三分が限度。浮上したペンギンたちは、一匹、また一匹と漁師のたも網におさまつていった。

今では、一匹のケガも治り、何もなかつたかのように、平川動物園でかつての平穏な暮らしに戻つている。

ちなみに、平川動物園は近く大改装の予定。改装前の不祥事を知らぬことは困る、この事件は、職員の間では固く口止めされている。でも、話は広がつて私のところまで来た。

* * *

それはそうと、去年の夏の日照りはひどかつた。四十日ほど、一滴の雨もなかつた。

日吉町吉利の実家に帰つてみると、シャクナゲの木が枯れていた。日照りのせいで。春が来るたびに艶やかな花を咲かせていて、もう見る

とができるのかと思うと切なくなつた。

父は生前、植木に水遣りを欠かさなかつた。そういえば、ホースを長く伸ばして畠の野菜にもよく水を掛けいつづけ。ひとしきり感慨にふけることであつた。

その時、はたと気が付いた。枯れたのはシャクナゲだけで、周辺に自生しているカシやタブの木は青々としている。山の木々も草だつて元気に茂つているではないか、と。自然にとつて、一月や二月の日照りなど想定内のことなのである。

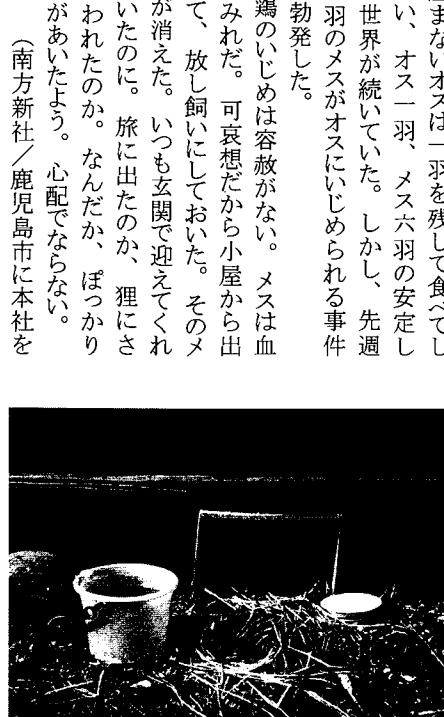
そういえば、小社が刊行している『自然農・栽培の手引き』は、水遣りにはほとんど触れていない。苗を移植するときなどは、ジャブジャブになるくらい水を掛けると父に教わつたものだ。だが、自然農では「土が乾いているときは、天気の崩れる前に移植しましょ」と書いてある程度。有機農家の橋口さんに、水遣りについて聞いた。彼も水遣りはしないらしい。広い畠だからそもそも無理なのだが、「癖になる」とも言つていた。このときシャクナゲと野菜が繁がつた。「水遣りを丁寧にした植物は根が育たない」ということだ。



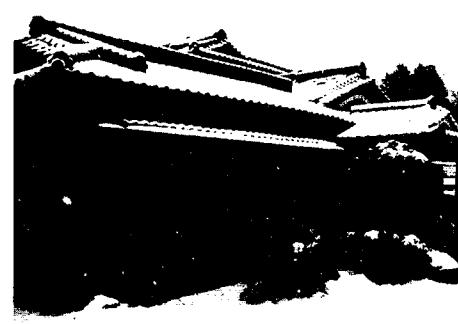
鹿児島市下田町の田の神さま
近所のおばさんが毛糸の帽子をプレゼント



白い奴がオス。こいつがメスをいじめていた
許せん、食うぞ! 2010.2.17



床下に設置した避難用の巣箱
メスが消えて4日目 2010.2.17



雪の降りしきる南方新社 2010.2.13
このときペンギンたちは脱走していた

自然の中で鍛えられた生き物は強い。逆に甘やかされた生き物は弱い。

これは、人間にも通じるに違いない。ふんだんに水を使い、冷暖房にならなかつた。そういえば、ホースを長く伸ばして畠の野菜にもよく水を掛けいつづけ。ひとしきり感慨にふけることであつた。

さて、去年、南方新社では会社で鶏を飼い始めた話を書いた。昨春、二代目が九匹仲間入りをした。卵を産まないオスは一羽を残して食べてしまい、オス一羽、メス六羽の安定した世界が続いていた。しかし、先週

